



2016年7月8日

報道各位

エアロセンス 株式会社

## 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、エアロセンスの「UAV 向け環境認識技術と飛行経路生成技術の研究開発」を採択～時速 100km 以上で飛行しながら空間を認識し、障害物を回避へ～

エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役:谷口恒、以下エアロセンス）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の平成 28 年度「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」において、革新的ロボット要素技術分野における研究課題「UAV 向け環境認識技術と飛行経路生成技術の研究開発」に応募し、今後具体的な開発内容と目標値を記載することを条件に採択されました。

現在多用途に使われ始めたエアロセンスの自律飛行 UAV の運用において、各運用現場にてより安全にミッションを達成するために、飛行中に予期していない障害物などを検出し、事故を避ける動作が期待されています。また、GPS の電波の入りづらい、屋内、高層ビル周辺、地下などでの UAV の活用需要が高まり、そのような現場では GPS なしでも UAV が自己位置推定できることが求められてきています。

そこで、エアロセンスは、障害物検出・回避を含めた動的な自動飛行経路構築のため高性能センサーと高速画像処理エンジンを統合したシステムモジュールをドローンに搭載します。重くて高価な LiDAR などの技術を用いず、イメージングセンサと画像処理技術のみで実現することで、GPS の入らない環境でも安価・軽量・安全に自律飛行できる技術を開発・実装していきます。最終的には時速 100km 以上で高速飛行する VTOL 機に搭載し、障害物や他の飛行体を回避し安全な航行の実現を目指します。

### ■本件に関するお問い合わせ先■

エアロセンス株式会社

東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号

TEL: 03-4405-8535、[www.aerosense.co.jp](http://www.aerosense.co.jp)